

矢板赤滝大根

矢板のオリジナル品・ブランド化に向けて

道の駅やいたの野菜部会では、**真っ赤な大根**と矢板の地名**赤滝**を結び付け名付けた「**矢板赤滝大根**」を農産物ブランドにすべく、平成二十六年から生産を展開をしています。
野菜部会長で生産者でもある薄井さんのほか、生産者の皆さん（磯さん、津久井さん、大貫さん親子、関谷さん）六人にお話を伺いました。

●**生産のきっかけ**
道の駅やいたのオリジナル品「地産地消」をテーマとして道の駅のブランドに、「地元ブランド」野菜が無いのはさみしい」と組合員から声があがりました。
そこで、農産物種苗会社と協議した結果、真っ赤な大根の生産がほとんどなかったことから、真っ赤な大根と矢板の地名赤滝とを結び付け、オリジナル野菜「矢板赤滝大根」



●**大根の特徴**
大きさは長さ三〇センチ、太さ八〜一〇センチ、皮は赤色です。イチゴやブルーベリーに含まれるポリフェノールが豊富に含まれています。
中身の色は純白で、食感はカリッとした歯ごたえがあり、みずみずしく、おいしいです。辛みがないので、子どもでも食べやすいです。

●**種まきや収穫、販売の時期**
お盆前後に種まきし、収穫は十月末の頃からです。販売は十月末から十二月末頃まで行っています。
●**生産する上で気を付けていること**
畑の水が多すぎると良くできないうので、水はけを良くすることですね。また、肥料は油かすとぬかを混ぜ

として、生産することになりました。
現在、十一の農家の方が生産し、道の駅やいたで販売しています。
●**大根の特長**
大きさは長さ三〇センチ、太さ八〜一〇センチ、皮は赤色です。イチゴやブルーベリーに含まれるポリフェノールが豊富に含まれています。
中身の色は純白で、食感はカリッとした歯ごたえがあり、みずみずしく、おいしいです。辛みがないので、子どもでも食べやすいです。



発酵させて堆肥として使っています。
収穫適期を逃してしまつと、収穫時に葉が折れやすくなり、葉つきが少なく、商品として出せなくなってしまうので、気を付けて作業しています。
●**今後どのようにしていくのか**
各農家が協力して、栽培時期をずらしながら、販売期間を広げることや、生産者、生産数を二〜三倍に増やしたいと考えています。
●**どのような料理に向くのか**
一押しは野菜サラダ、酢の物です。そのほか、漬物、大根おろし、煮物など、多彩です。

●**今後のようにしていくのか**
各農家が協力して、栽培時期をずらしながら、販売期間を広げることや、生産者、生産数を二〜三倍に増やしたいと考えています。
●**どのような料理に向くのか**
一押しは野菜サラダ、酢の物です。そのほか、漬物、大根おろし、煮物など、多彩です。

(T・H)

一針一針縫い進めるぜいたくな時間

片岡つるしびなの会

昔から三月は「上巳の節句」、現代のひな祭りがあります。
市内外でも女の子の健やかな成長と幸せを願って、ひな人形やつるしかがざりが飾られ、にぎわいます。この時期になると、片岡の「ささや洋品店」の店内にも所狭しとつるしかがざりが飾られ、訪れた人を楽しませてくれます。自身も片岡つるしびなの会の一員である店主の笹沼登美子さんにお話を伺いました。



集い、手先でちまちまやるのが楽しいですよ。モチーフ一つ一つに一針一針心を込めて仕上げていく。一連出来上がるたびに本当にうれいいます。それぞれのモチーフにはすべて幸運をもたらすとはいわれないです。また、年一回、研修旅行を行い、実際につるしかがざりが飾られている様子を目で見てきます。さらに年二回親睦会も開いていますよ。仲間とのコミュニケーション、絆を持ち続けたいですね。
●**見慣れないつるしかがざりがありますね？**
あれは「端午の節句」をイメージしたつるしかがざりです。昨年春の教室開始から五年が経過し、初期会員の十人が一通り女の子のモチーフを作り終えたので、男の子をイメージしたものも作ってみようということになり、今年かけて作成し、今回初めてお披露目しました。再度、「端午の節句」を祝って、四月十五日から末日まで飾ります。どうぞ足を運んでください。

●**始めたきっかけ**
六年前に主人の妹である檜山絢子さんが作成したつるしかがざり二さげを店内に飾ったところ、それを見た方から、口コミで広がり、作ってみたいと話があり、義妹を講師に十人から教室を始めました。現在の会員は三十五名に増えたので、三グループに分けて教室を開催しています。月一回の教室は楽しみです。
●**教室の魅力**
趣味が同じ人たちが

●**今後のようにしていくのか**
各農家が協力して、栽培時期をずらしながら、販売期間を広げることや、生産者、生産数を二〜三倍に増やしたいと考えています。
●**どのような料理に向くのか**
一押しは野菜サラダ、酢の物です。そのほか、漬物、大根おろし、煮物など、多彩です。

(記者のコメント)
泉公民館でも今年三回目を迎えるつるしかがざり展が行われ、「端午の節句」の男の子かがざりが初めて飾られました。また、木幡北山はつらつ館でも和室につるしかがざり展示されています。
三カ所それぞれに、楽しい雰囲気があります。ぜひ足を運んでください。
(M・W)



泉公民館のつるしかがざり